

区自治協議会提案事業 事業評価書

中央区自治協議会 第4部会

区 分	内 容
テーマ・事業名	住環境の再生 ～空き家対策について～
事業目的・概要	<p>空き家は個人の財産であり、所有者や管理者は、空き家を適切に管理する責務があるが、適切に管理されず放置されると、建物の劣化が進み、防災面や防犯面、衛生面の問題が生じる恐れがあり、近隣や地域の大きな問題に発展する可能性がある。</p> <p>このため、空き家を個人の問題としてとらえるだけでなく、地域としての課題であることを認識してもらい、適切な空き家管理や活用を進めてもらうための課題や方策の調査・検討を行う。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<ul style="list-style-type: none"> ○中央区自治協議会委員研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時：令和2年11月27日(金) 15時～17時 ・会場：中央区役所対策室(NEXT21 5階) ・出席者：22名(中央区自治協議会委員) ・内容：空き家問題に関する講演 及び グループワーク ○空き家問題に関する啓発用チラシの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・研修のグループワークでの意見を踏まえた空き家問題に関する啓発用チラシを作成し回覧する。 ・配布先：自治会・町内会など
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○近年問題がより顕在化し、生活する上で様々な形で関わるが増えている「空き家」問題について、部会に所属する専門家の専門的な知見を含め、異なる立場の多様な意見を出し合いながら取り組みを行うことができた。 ○部会において協議する中で、委員間においても問題意識や知識に大きな差があることが明らかとなったことから、問題解決への対応を進めるにあたっては、「空き家は近隣や地域の大きな問題に発展する可能性がある課題」という認識の共有から取り組むことが必要であることが確認できた。 ○自治協議会委員研修会において、空き家問題に関する講演とグループワークを行ったことで、空き家に関する知識の習得や問題が個人のみならず地域の課題であることを参加者に認識し、共有してもらえたことは課題解決に向けた第一歩になるものであり有意義であった。 ○グループワークの実施により、空き家は何が問題なのかを整理・分析できたことで、地域として実行できる空き家対策の取り組みの検討につなげることができた。 ○研修会の分析結果を基に自治会・町内会向けのチラシを作成し、空き家問題に対する啓発に着手することができた。事業効果として、区民の皆様の問題を認識してもらい、地域で問題解決に向け主体的に動くきっかけとなることが期待される。